想い出の人

消防本部の火事

足寄町の歴史的歩みが私達の思い出のなかにあるという人は、この人もその記憶のなかにある―消防という言葉を出せばすぐ浮かんでくる顔―それは白岩松治さんである。

私達、昭和ヒトケタ生れの足寄っ子にはとりわけ想い出も強く、幼児のころようやく子供ごころに世の中を観察し始めたころ―消防番屋という言葉を覚えたと同時に、この人が番人であることを知った。

当時、一年に一度あるかないかの火災事故に鳴り響く半鐘の乱打に、全村民が緊張するときには血相を変えたこの人が必ずそこにいた。

当時、飛び出す消防資材は、手押しポンプとガソリンポンプの二つで、このガソリンポンプは当時の科学の粋であっても、イザ出動するときは丸通の運搬馬が急拠現場に急行する原動力となっていた。

時の流れと町の発展に沿って現在の位置に移り消防自動車に変り、その台数も増すごとにこの人も相応に運転も覚え、責任も増加していた。

こんな流れのなかで私の印象に残った日―それは昭和三十三年一月四日、この日は恒例の消防出初式で、朝からサイレンの鳴り響くことは承知していたが、そのなかで異様なサイレン操作に町民は緊張した。

朝寝坊で寝止月気分の私も窓越しに見る煙りの上昇を見て現場へいってみた、消防本部そのものの火災事故である、そのときはすでにベテランの消防団員が馳せ参じていたし、消防車はつぎつぎと外へ出され、鎮火は時間の問題である、その状況を見ただけでその原因は厳寒の出動に備えてのエンジン保温に使用した火から延焼したものであるとすぐわかった。

（当時は現在のように消防自動車を格納する車庫に密閉シヤッターもなく保温設備もなく、ガソリンスタンドというものがないのでドラム缶を備えてガソリンを注入する状態で、不凍液というものもなく、常備の消防職員は白岩さんただ一人で、いつなんどき発生するかもしれない火災出動のためにひと晩中消防自動車のエンジンを炭火で暖めておくのが白岩さんの仕事で、ガソリンを自動車に注入するさいにコボれたのが炭火に引火したものですが、大事には至らなかったもの）

混雑する人混みの後の方で奇声をあげだれかに支えられている人の姿が眼に写った、この人である。その形相はいつも見る白岩さんのイメージはない。だれかが押えていなければ火中に飛び込み殉職する覚悟のできた姿であることを察することができる―この人が責任者なのだから―。

過去長い年月、まじめな人で通ってきた人にしてみれば、いまさら停年近い時期におきたこの事故はくやしかったのだろう。

ぼう然とこの姿をみているとき、いつか私自身の眼に涙が出ているのに気がついた、その涙は私が彼に同情した涙ではなく私とこの人のあいだにあるへだたりのあることをみせつけられた、自分の空しさに対する情けない自分の涙だったのだ。

当時、三十才そこそこで出たら目を趣味としたような自分の無責任な姿と、この人の姿ではあまりにも差のありすぎることが、たたきつけられるように当時の私にみせつけられたのだ。

その形相には真剣な職業への責任感、人生への使命感がありありと認められ示されたのである。

教育論をある面から表現した言葉に「教育とは教育するものの姿そのものが教育である」と―これは必ずしも教育者に強要される言葉ではないにしても、これを度外視した教育論はもろくなるのではなかろうか。

この世を真剣にまじめに生きる姿は無言のうちにだれかを指導しているのではないか、この町をひらき基礎をつくった先覚の人たちには、このような人々が沢山いることを思い出されるが、いずれも声なき姿そのものが次代の町づくりの遺言ではないか。

このような人々へ捧げるものは、平和で真実を語り合い、あやまちはみんなで許し合いながらつくりあげていく、緑の高原都市ではなかろうか。（筆者は足寄竹馬会の安久津攸人会長）

災害復旧で 新年初の 本別町議会

本別町議会の新年才一回の臨時会は一月十九日午後一時にひらき（鳥居健太郎野崎武、高木章、松下一桜の四議員は欠席）会期を一日として災害復旧の一般会計予算補正を上程しました

水元町長　今回提案の内容は昨年十月二十、二十一日の集中豪雨の災害関係の予算補正が主たる内容で、十二月の定例会で概要は申しあげたが、その後十二月二十、二十一日に建設省の査定があり結果が出たのでそれにもとずいて五十一年度に実施すべき工事の計画を提案した、一般公共災害は十七件で二億九千八百六十五万四千円の申請に対して建設省の査定の結果は十七件、二億八千六百八十九万三千円となり九六・一％で若干減額となった、このうち五十一年度に実施しなければならないのは約二千万円で、厳寒期に入るので河川復旧工事のうちブロック積み一千八百八十一万円で、今回はこれを基本にして提案した、あとは五十二三年度となるがそのうち債務負担行為として一億四千三百九万七千円がある、五十二年度の実施は六千五百七十九万八千円、五十三年度は一件で一千九百七十三万円となる、つぎに農業災害については十件で一億六千五百三十三万七千円の申請に対して採択は一億四千八百二万八千円で、主として土地改良区がおこなう

補正の主な支出は

▲パトロール車購入　一〇〇万円

▲公共土木施設災害復旧費　一、九七六万円

▲町債繰上げ償還　三四三万円

▲合計　二、四一九万円

て、これに対する質疑に入り

井出利一郎氏　原材料費一千八百万円のコンリートブロックというが、これが原材料になるのか

鈴木施設課長　災害復旧工事の債務負担行為で連結ブロックを直営で購入する

井出氏　連結ブロック四七四九・四平方㍍の現物を購入して現物給与で入札するのか

鈴木課長　これは道の指示に従つてやっているので冬期間なので工場のものを買うので、運搬その他は別途計上する

などの質疑があって原案どおりに議決して、二十分で閉会しました。

事務局長の歓送迎会

このあと、一日付で議会事務局長を勇退して総務課付となった佐竹良男氏と病院事務長から後任の事務局長になった鎌田照三氏との歓送迎会を議員会の主催で土幡会館でひらきました。

はじめに方川議長と水元町長から、三十三年間にわたって町で勤務し、その間教育次長六年、総務課長四年、議会事務局長十四年の佐竹氏の功績をたたえ、病院の新築など企業努力をへた鎌田氏へ期待の歓送あいさつがあり、これに対して佐竹氏から、昭和十九年に役場に入った戦争中に召集令状を届けに歩いた思い出など三十三年間のお礼、鏡田氏からも謝辞があって、賀陽議員会長から佐竹氏へ記念品を贈呈、天野議会運営委員長の乾杯の発声で懇親会に入りました。

社協の法人化 足寄ですすむ

足寄町社会福祉協議会（三宅隆義会長）では、かねてから社会福祉法人化の準備をすすめてきましたが、一月十七日に町役場会議室で新年初の役員会をひらいて、昨年末に町を退職した前民生課長の松平京氏を嘱託に迎えて、法人化への手続きに本格的にとりくむことになりました。

老人クラブや母子会や身体障害の会や遺族会など福祉関係の仕事は益々多様化しているおりから、町の民生課の片手間ではムリであり、法人化によって国や道から専任職員の人件費などの経費補助があり、従来の任意の申し合せ団体と違って社会福祉事業法にもとずいてその業務、会計、財産などは厚生大臣の監督をうけるとともに住民からも信頼される民間団体として、よりキメのこまかい福祉活動を展開しようとしています

このためにいままでの社協はいったん解散して、新しく法人社協を設立することになりますが、定款、財産目録、貸借対照表、収支決算、予算、事業報告、事業計画、認可申請書などの作製をすすめ、三月に入って解散、設立総会を予定しています。

なお、芽登温泉の伊東綱四郎氏から温泉や敷地などを社協に無償で提供するから福祉施設をつくってはーとの申し入れについては、神本、大塚副会長、長田、木村理事、松山監事らで小委員会をもって、伊東氏の好意を活かす方法を調査、研究することになりました

学園都市は再検討へ 音更

大滝議長の意見とおる

十勝町村議会議長会と帯広市議会との懇談会は一月二十一日に市、支庁側も出席して寿御苑でひらきました。

この日は各市町村から八つの議題をもちよって協議しましたが、足寄町の大滝議長は「研究学園都市の誘致と十勝種畜牧場の両立」について提案して、昨年十一月に十勝総合開発促進期成会では音更町を候補地に一本化を決定したが、種畜牧場と学園都市が両立できるのか、両立できないとすれば種畜牧場をどうするのかとの問題提起に対してハツキリした対応策がないところから、音更町に学園都市を決めた十勝総合開発促進期成会に問題を差戻し再検討することになりました

この種畜牧場については十年前に、当時の町村道知事が十勝支庁長を通じて管内の各機関に対して、同牧場を解放して酪農、畜産のモデル村をつくってはーとの提案があったとき、町村会、議長をはじめ各農業団体とともに反対して、あくまでも種畜牧場としての存続を要請したために、それいらい農林省では十億円を投じて牧場の整備にあたってきたもので、これをつぶして学園都市にということは同牧場の職員組合ばかりでなく農林省自体が反対といわれています。

十勝総合開発促進期成会を構成している市町村長、議長など四十名のうち、十年前の経過を知っているのは、いまでは大滝氏ら八名しか残っていないので、この日の大滝氏の発言はもっともとうけとられたようでこんごの期成会の取扱いが注目されます。

足寄町建設業協会の新役員

足寄町建設協会では、このほど総会をひらいて役員改選をおこない、会長には全員の推薦で斉藤昇氏の留任を決め、理事六名は連記投票によって石田富男、木村春三、河向一夫、小林道輝、森下光吉、外田昭七氏が当選、副会長は会長の指名で石田、木村の両氏に、相談役に秋林専三郎氏を推しました。

主筆の室

○…「足寄にフォークの松山千春あり、全国で人気上昇、初めてレコードも…」と二十二日の道新全道版の報道につづいて、二十三日にはNHK教育テレビ「若い広場・大地のうた」の全国放送があって二十五日には千春の初のレコード「旅立ち」を発売。

○…発売日の札幌市では各レコード店とも行列で即日売り切れ、各都市ともそのようで、専門店のない町村にまわらないうちに品切れで、レコード会社ではあわてて追加プレス中とのこと

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊀久保呉服店
足寄町　T二二一四八

3時間
人間ドック＋成人病
職員採用
◎男　女　各三名
資格二十五才以上　高卒程度
◎給与（男八万・女七万円＋歩合）
◎各種団体共済保険取扱
社保・一般週休二日制実施
右希望の方は略歴持参ご来社下さい
協栄生命足寄営業所
足寄町三笠通り　T　五ー四六五二

技術に生きる！
ーあらゆる電気器具ー
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
世界の ビクター
HIS MASTERS VOICE
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T5－2642

冬物衣料を各産地から
沢山仕入れてきました
ただいま陳列を完了しまして
皆様の御用命をお待ちしております
是非御来店下さい
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T五ー二〇二二

住宅産業に奉仕する店
新築改築のときはご相談下さい
家具　建材　サッシ　住宅設備機械
有限会社　桜井家具建具店
足寄町本通り南3丁目　T　5－2362
アコーデオンカーテン　サッシ網戸
各種注文承ります
注文建具
注文サッシ　製作部　足寄町西5区　T5－3315